

ステークホルダー同士の連携による鳥取県版SDGs		取組開始時期	令和2年4月	取組の カテゴリ	その他（SDGsの普及啓発と取組推進）
--------------------------	--	---------------	--------	---------------------------	---------------------

1. 団体名	鳥取県	2. 連携先の団体	県内でSDGsに取り組んでいる個人、団体等
---------------	-----	------------------	-----------------------

3. 取組目的	鳥取県らしい持続可能な地域社会づくりを実現するため、行政、企業、大学、NPO、県民等のあらゆる主体が連携・協働し、SDGsを推進する。	4. 関連するゴール	
----------------	---	-------------------	---

5. 取組詳細（取組内容の詳細及び取組によって得られた成果、今後の方向性等）

とっとりSDGsネットワーク
※事務局：県・県民活動活性化センター

【概要】
多様な主体が一体となりSDGsを推進するための官民連携組織
【メンバー】
企業、大学、NPO、行政など
※全18団体（県含む）



とっとりSDGs若者ネットワーク
※事務局：県

【概要】
若者が主体となりSDGsの実践を拡げていくためのネットワーク
【メンバー】
県内の高校生、学生や社会人
※R2年度：14名



とっとりSDGsパートナー
※事務局：県（県民活動活性化センターへ委託）

【概要】
個人・団体等のSDGsの取組の「見える化」を進め、優良事例の横展開を図る制度
【メンバー】
SDGsに取り組む個人又は団体等
※R2.11現在登録数
団体:30団体／個人:2名



活動内容

- SDGsの理念の共有
- SDGs活動の実践
- SDGs活動の情報共有・発信

ステークホルダー同士が連携した持続可能な地域社会づくりへ

取組のポイント（3つの視点）

地方創生SDGsの視点

すべての県民が、豊かな自然・環境の中で、心の豊かさを実感しながら充実した生活を送ることができる「持続可能な鳥取県（SDGs）」を目指す。

ステークホルダーとの連携

持続可能な社会の担い手となる若者（高校生、大学生、社会人など）やSDGsに繋がる活動に取り組む個人・企業・団体と連携し、オール鳥取県でSDGsの普及啓発と取組推進を図る。

モデル性・波及性

来年度へ向けさらに推進体制を強化しながら、官民のネットワークを広げていく予定。

自由記述欄

鳥取県におけるSDGsの推進

基本的な方向

- 人口減少、少子化、高齢化の中で持続可能な社会をつくる
- 豊かな自然を守るとともに気候変動・海洋プラスチックゴミなど、グローバルな課題に対応
- あいサポート運動などを通じて誰一人取り残さない地域共生社会を実現
- 新型コロナに打ち克つ保健・医療体制と地域経済・社会の構築

三側面を調和させながら推進

環境

経済

社会

SDGsの推進により

- ・県民・NPO・企業・団体等とのパートナーシップ
- ・さまざまな課題解決に向けた全体最適
- ・ローカル指標によるマネジメント等の効果

すべての県民が、豊かな自然・環境の中で、心の豊かさを実感しながら充実した生活を送ることができる

「持続可能な鳥取県（SDGs）」の実現

とっとりSDGs宣言

2020年4月3日、持続可能な地域社会づくりを鳥取県でも実現するため、全庁を挙げた推進体制である「鳥取県SDGs推進本部」第1回の会議において、「とっとりSDGs宣言」を行いました。



- ・ 持続可能な地域社会づくりのためにSDGsの普及啓発を図り、本県ならではのパートナーシップを活かしたSDGs推進に取り組みます。
- ・ 県の各種計画へSDGsの視点を反映するとともに、経済・社会・環境の三側面を統合した取組を推進します。
- ・ SDGs推進のための具体的な目標及びローカル指標を設定するとともに、県民と共有し、毎年、取組の効果検証を行います。